

# 平成27・28年度 食育関連事業の実施状況調書

資料2

## 基本目標 I

いつしょに食べよう、育もう 子どもの食習慣 <子どもの健全育成>

### 1 家庭における食育の推進

No.	取り組むべき施策	事業の概要	実施時期・回数・人数等	担当課・行動主体
① 妊産婦や乳幼児に対する保健指導	3～4か月児健康診査	離乳食の進め方についての集団指導や栄養相談などの実施	通年 ⑰24回 667人 ⑱24回	医療機関市(保健センター)
	すくすく相談(乳幼児クリニック)	低体重児及び未熟児等ハイリスク児への小児科専門医による診察や相談及び栄養相談の実施	通年 ⑰8回 138人 ⑱8回	
	1歳6か月児健康診査	栄養相談や保健相談などの実施	通年 ⑰24回 725人 ⑱23回	
	3歳6か月児健康診査	栄養相談や保健相談などの実施	通年 ⑰24回 764人 ⑱24回	
	もうすぐパパママ教室	食事バランスガイドを活用し、子育て世代の食生活について普及・啓発	通年 ⑰9回 252人 ⑱8回	
	育児相談	乳幼児を対象とした栄養相談の実施	通年 ⑰24回 723人 ⑱12回	
	離乳食実習(もぐもぐ教室)	離乳食初期の乳児を持つ親を対象とした講義と、離乳食実習の実施	通年 ⑰12回 170人 ⑱12回	
	わくわく広場	心身の発達などに心配のある子どもを対象とした、おやつや遊びなどを通じての小集団指導を実施	通年 ⑰10回 84人 ⑱10回	
	わんぱく広場(要観察児教室)	就学を控えた4・5歳児発達障害要観察児に対して、おやつや遊びなどを通じての小集団指導を実施	通年 ⑰6回 92人 ⑱6回	
	むし歯予防教室	おやつのとり方や生活習慣についての集団指導、歯科診察、フッ素塗布、個別相談などの実施	通年 ⑰48回、1925人 ⑱36回	
② 望ましい食習慣や知識の習得	「早寝早起き朝ごはん」リーフレットの配布	文科省発行の基本的生活習慣づくりに取り組むことを目的としたリーフレットを小学校新1年生に配付	4月 ⑰1回 ⑱1回	市(生涯学習・スポーツ課)
	おやこの食育教室	園児や小学生の子どもとその親を対象として、食育に関する講義や郷土料理の料理講習会を実施	8月～2月 ⑰2回 51人 ⑱2回	(財)日本食生活協会 富山県食生活改善連絡推進協議会
	三世代ふれあいクッキングセミナー	食を通じて三世代の交流を推進するとともに、各年代の健康づくりのための食事について学ぶためのクッキングセミナーを実施	6月～2月 ⑰11回 541人 ⑱7回	射水市食生活改善推進協議会 市(保健センター)
	家庭教育手帳の紹介	望ましい食習慣について掲載している家庭教育手帳(文部科学省)を市ホームページにより紹介	通年 ⑰⑱各年代別	市(生涯学習・スポーツ課)
	栄養ボードと給食サンプルの展示	家庭における食への関心を深めるため、栄養ボードと様々な食材を使った保育園給食を紹介。	通年 ⑰⑱全保育園	保育園、市(子育て支援課)
③ 子どもの生活リズムの向上	早寝早起き朝ごはん運動の実施	小・中学校の児童生徒の生活習慣の振り返りと改善を促すため、各学校で実施	通年 ⑰⑱定期	学校給食センター、幼稚園、小・中学校、市(学校教育課) 保育園、市(子育て支援課)
	食育だよりの配付	正しい食習慣に関する情報を保護者へ伝えるため、保育園や幼稚園において「食育だより」や「給食だより」を配付	通年 ⑰⑱定期	
	保健だよりの配付	小・中学校の児童生徒自身や各家庭における健康への関心を促すため、各学校で配付	通年 ⑰⑱定期	

No.	取り組むべき施策	食育に関する事業名等	事業の概要	実施時期・回数・人数等	担当課・行動主体
④	肥満予防の推進	健康手帳の配付	検診の受診記録及び結果の管理のため、受診者本人に対して健康手帳を交付	通年 ⑦⑧定期	市(保健センター)
		身体すっきり教室	市民を対象に、運動習慣の定着を図るため各地区の体育館で実施	5月～3月 ⑦10回 250人 ⑧10回 201人	市(保険年金課)
		特定健康診査の実施	40歳以上の被保険者を対象として、生活習慣病の前段階であるメタボリックシンドロームに着目した健康診査を実施	6月～10月 ⑦対象者約16,000人 ⑧対象者約16,000人	医療機関、市(保険年金課)
		動機付け支援・積極的支援(特定保健指導の実施)	特定健康診査の結果をもとに、リスクの高い該当者を対象として、専門スタッフによる生活習慣病改善に向けた個々のプログラムによる健康づくりのサポート	10月～3月 ⑥随時 ⑦随時	
		小児生活習慣病予防検診の実施	小学校4年生を対象に血液検査等を行い、結果に基づき食生活等の健康指導を実施	9月～11月 ⑦838人 ⑧820人	医療機関、市(学校教育課)
⑤	家族だんらんの推進	「食育の日」の啓発	食生活改善推進員によって「毎月19日は食育の日」として家族揃って食事をとるようチラシ入りティッシュを配布し啓発	通年 ⑦随時 ⑧随時	射水市食生活改善推進協議会
		「食育だより」の配付【再掲:1-③】	各保育園から配付する「食育だより」「献立カレンダー」などを通じ「毎月19日は食育の日」を啓発	通年 ⑦⑧定期	保育園、市(子育て支援課)
⑥	家庭における手作り料理の推進	CATV番組「ぱくぱくクッキング」の放映	⑦「健康寿命の延伸」をテーマに、簡単メニューを紹介する番組の作成及び放映 ⑧「野菜料理をプラス1皿」をテーマに、簡単メニューを紹介する番組の作成及び放映	6月～3月 ⑦4回 ⑧4回	市(保健センター)
		広報「いみず」にレシピ掲載	広報「いみず」に28年7月号から毎月『食生活改善推進員のおすすめレシピ』を掲載。	毎月 ⑧9回	市(まちづくり課保健センター) 射水市食生活改善推進協議会
⑦	家庭における郷土料理や伝統料理の実践	富山型食生活普及推進事業(いきいきとやま食育クッキング)	地域の食文化や栄養バランスのよい料理を普及するため、旬の地場産食材を使用した郷土料理の調理実習等を実施	6月～2月 ⑦5回 115人 ⑧4回	富山県食生活改善連絡推進協議会、射水市食生活改善推進協議会
		おやこの食育教室【再掲:1-②】	園児や小学生の子とその親を対象に、食育についての講義や郷土料理の紹介、料理講習会を実施【再掲:1-②】	8月～2月 ⑦2回 51人 ⑧2回	(財)日本食生活協会、射水市食生活改善推進協議会
		郷土料理や伝統料理の実施	保育園において郷土料理や伝統料理を取り入れて提供。「献立だより」を通じて啓発。	通年 ⑦随時 ⑧定期	保育園、市(子育て支援課)
⑧	よく噛む習慣の定着	カミカミメニューの実施	献立に歯ごたえのあるメニューを週2回取り入れ、噛むことを指導。また、「食育だより」を通じてよく噛むことの効果を啓発	6月 ⑦⑧全保育園	保育園、市(子育て支援課)
		むし歯予防教室【再掲:1-①】	おやつのとり方や生活習慣についての集団指導、歯科診察、フッ素塗布、個別相談などの実施【再掲:1-①】	通年 ⑦48回、1925人 ⑧36回	市(保健センター)
⑨	子どもの食事マナーの習得	学校給食通じた指導	給食時の学校放送や学級活動を通したマナーの啓発	通年 ⑦⑧随時	小・中学校、市(学校教育課)
		「食育だより」の配付【再掲:1-③】	各保育園から配付する「食育だより」などを通じた、手洗いや望ましい食べ方、箸の持ち方など食事マナーの啓発	通年 噛むことの効果⑧ 手洗い⑧ 箸の持ち方⑧	保育園、市(子育て支援課)
⑩	食べ物に対する感謝の念の醸成	ふれあい農園の運営	農産物を栽培しながら食材に対する理解を深めるとともに、周辺農業者及び市民相互の交流を図る施設の運営	通年 ⑦58/58区画 ⑧58/58区画	NPO法人下村スポーツクラブまいけ、市(農林水産課)

## 2 学校、保育園等における食育の推進

No.	取り組むべき施策	食育に関連する事業名等	事業の概要	実施時期・回数・人数等	担当課・行動主体
①	教育活動における食育の推進	食育講座、給食参観の実施	年間食育計画に基づき、栄養と食材に関する「食育講座」や保護者と一緒に給食を食べる「給食参観」などを実施	通年 ⑰⑲定期	保育園、市(子育て支援課)
		食事マナーの指導	給食時における手洗いの方法やあいさつ、配膳の仕方や箸の持ち方などを指導	通年 ⑰⑲随時	
		栄養教諭、栄養職員による指導	食に関する年間指導計画に基づき、各教科や総合的な学習の時間などをを利用して、旬の食材の紹介や望ましい食生活と食事マナーなどを指導	通年 ⑰⑲随時	小・中学校、市(学校教育課)
②	食に関する体験活動の推進	保育園における家庭菜園体験	食に興味を持つきっかけづくりとして、園児が野菜の栽培や収穫、調理を体験	通年 ⑰⑲随時	保育園、市(子育て支援課)
		小・中学校における農業体験	バケツ稻や田んぼでの田植えのほか、各学校の菜園などにおいて、地域の農業者等から指導を受けながら農作業を体験	通年 ⑰⑲随時	幼稚園、小・中学校
		稚魚中間育成及び放流事業	育てる漁業や地域の食材への理解を深めてもらうため、幼児・児童がアユやトラフグ等の稚魚放流を体験	4月～8月 ⑰3校(大門小、堀岡小、八幡保育園) ⑲3校(大門小、作道小、八幡保育園)	小学校、市(農林水産課)
		未来につなぐ「農」と「食」普及啓発事業 (27年度:富山食材ふれあい講座)	食に関わる人々の様々な活動への理解を深め地場産食材の良さを認識してもらうことを目的に、農業体験活動等を実施し、子どもと地域住民が一緒に、一連の農作業、調理等を体験	通年 ⑰23回 ⑲23回	市(農林水産課)
③	学校給食における食育の推進	食事マナーの習得	栄養教諭や栄養職員による指導のほか、給食時の学校放送などを通じた食事マナーの習得	通年 ⑰⑲随時	幼稚園、小・中学校、学校給食センター、市(学校教育課)
		学校給食を通じた指導	栄養教諭や栄養職員が中心となり、学校給食センターから給食を受配する学校と自校で給食を調理する学校のそれぞれに対応した指導体制のもと、各学校の食に関する年間指導計画に基づき学校給食を通じた指導を実施	通年 ⑰⑲随時	
		豊かで魅力ある学校給食の運営	学校長や給食主任、PTAの代表者などで組織する学校給食運営委員会と栄養職員や調理員などで組織する学校給食研究会において、食材や献立などについて協議を行い、学校給食センターや各学校のそれぞれが豊かで魅力のある給食を実施	通年 ⑰⑲随時	
④	地場産食材の活用	「射水きときとの日」の実施	保育園において毎月「射水きときとの日」を設定し、旬の地場産食材を給食に使用	通年 ⑰22回 ⑲29回	保育園、市(子育て支援課)
		地場産食材利用の加工食品提供	地元の食材を使ったりんごゼリーや里芋コロッケなどを業者に製造依頼し給食に使用	通年 ⑰8回 ⑲10回	
		学校給食向け県産食材活用拡大プロジェクト (27年度:元気とふれあいの学校給食づくり事業)	幼稚園や小・中学校において、地元の食材に対する知識や理解を深めるため「射水食材の日」を設定し、地場産野菜等を活用した特別給食を実施	通年 ⑰3回(金山小、中太閤山小、東明小) ⑲4回	農林水産業関係団体、市(農林水産課、学校教育課)、学校給食センター、幼稚園、小・中学校

## 基本目標 II

みずから知ろう、実践しよう 食で健康生活 <健康に過ごす人生>

### 3 市民食育推進運動の展開

No.	取り組むべき施策	食育に関連する事業名等	事業の概要	実施時期・回数・人数等	担当課・行動主体
①	「食育月間」及び「食育の日」における食育の推進	「食育の日」の啓発 【再掲: 1-⑤】	生活改善推進員によって「毎月19日は食育の日」として家族揃つて食事をとるようチラシ入りティッシュを配布し啓発 【再掲: 1-⑤】	通年 ⑦⑧随時 ⑨⑩随時	射水市食生活改善推進協議会
		農業産業まつりの開催	市の農業・産業の持続的な発展を目的として、JAいみず野、射水商工会議所、射水市商工会からの出店のほか、ステージイベントなどを実施（射水市農業産業まつり実行委員会が実施）	11月 ⑪⑫約10,000人来場	農林水産業関係団体、食品関連事業者、市（農林水産課）
		「食育だより」の配付 【再掲: 1-⑤】	各保育園から配付する「食育だより」「献立カレンダー」などを通じ「毎月19日は食育の日」を啓発 【再掲: 1-⑤】	通年 ⑦⑧定期	保育園、市（子育て支援課）
②	各種団体との連携・協力体制の確立	射水市食育推進会議の開催	食育の推進に関係が深い関係諸団体との連携を図り、射水市食育推進会議の開催を通じネットワークを構築	⑦10月 ⑧2月 ⑨1月 ⑩2回 ⑪1回	市（保健センター）
		食生活改善推進協議会との連携	生活習慣病予防のための食生活をテーマとした講義や調理実習を行う伝達講習会や、地域ニーズに則した各種の料理教室などを用いる地域食育講習会を開催	通年 ⑦伝達講習25回517人、地域食育講習会29回1103人 ⑧伝達講習23回、地域食育講習会29回	市（保健センター）
		射水市地場産食材活用推進協議会の運営	学校栄養士、教育委員会、いみず野農業協同組合、富山県高岡農林振興センター、市農林水産課で構成し、学校給食への地場産食材の活用を検討	4月 ⑩1回 ⑪1回	市（農林水産課）
③	食育推進への理解の増進  追加資料 p6	ホームページの作成、公表	射水市ホームページで射水市食育推進計画の内容を周知	通年 ⑦⑧随時	
		広報誌による周知	食育月間に合わせて食育に関する記事を掲載 ⑦「専門調理食育推進員紹介」「地場産の食材」 ⑧第2次食育推進計画の概要を掲載	通年 ⑨2回(6.11月) ⑩4回(6.8.11.2月)	市（保健センター）
④	各種イベントにおける食育の普及・啓発活動の推進	農業産業まつりの開催【再掲: 3-①】	市の農業・産業の持続的な発展を目的として、JAいみず野、射水商工会議所、射水市商工会からの出店のほか、ステージイベントなどを実施（射水市農業産業まつり実行委員会が実施）	11月 ⑪⑫約10,000人来場	農林水産業関係団体、食品関連事業者、市（農林水産課）
⑤	「日本型食生活」の実践	富山型食生活普及推進事業(いきいきとやま食育クッキング) 【再掲: 1-⑦】	地域の食文化や栄養バランスのよい料理を普及するため、旬の地場産食材を使用した郷土料理の調理実習等を実施 【再掲: 1-⑦】	6月～2月 ⑪5回 115人 ⑫4回	富山県食生活改善連絡推進協議会、射水市食生活改善推進協議会

No.	取り組むべき施策	食育に関する事業名等	事業の概要	実施時期・回数・人数等	担当課・行動主体
⑥	「食事バランスガイド」の活用促進	栄養教室(食生活改善推進員養成講座)の開催	正しい食事バランスの理解を図る教材として食事バランスガイドを利用した食生活改善推進員の養成と養成後の普及・啓発	5月～2月 ⑦11回 延172人 ⑧11回	市(保健センター)
		ヘルスボランティア養成講座の開催	ヘルスボランティア養成講座において、食事バランスガイドを参考に、栄養バランスのとれた食生活について普及・啓発	7.10.12月 ⑦3回、76人 ⑧2回	
		もうすぐパパママ教室の開催【再掲:1-①】	食事バランスガイドを活用し、子育て世代の食生活について普及・啓発【再掲:1-①】	通年 ⑦9回 252人 ⑧8回	
		脂肪バイバイ教室の開催(健康教育)	生活習慣病予防を目標に、食事バランスガイドを参考にした、栄養バランスのとれた食生活について普及・啓発	6月～9月 ⑦4回 45人 ⑧3回	
		メタボ予防セミナーの開催	特定保健指導の動機付け支援対象者に、食事バランスガイドを参考にした、栄養バランスのとれた食生活について普及・啓発	11月～3月 ⑦5回 42名 ⑧4回	
⑦	ライフステージに応じた健康な食生活を学ぶ機会の提供	市政出前講座	食事と健康との関わりをテーマとした出前講座の実施	通年 ⑦4回 ⑧	市(市民病院、保健センター)
		伝達講習会、地域食育講習会の開催【再掲:3-②】	生活習慣病予防のための食生活をテーマとした講義や調理実習を行う伝達講習会や、地域ニーズに則した各種の料理教室などを行う地域食育講習会を開催【再掲:3-②】	通年 ⑦伝達講習25回517人、地域食育講習会29回1103人 ⑧伝達講習23回、地域食育講習会29回	射水市食生活改善推進協議会、市(保健センター)
		健康教育	生活習慣改善の意識を高めることを目的として、生活習慣病予防や健康づくり、精神保健についての正しい知識を普及	通年 ⑦⑧随時	
		健康相談	家庭における健康管理に資することを目的として、心身の健康について必要な保健指導と栄養指導を実施	通年 ⑦⑧随時	市(保健センター)
		訪問指導	保健指導や栄養指導が必要と思われる人とその家族に対し、生活習慣病予防のための訪問による個別指導を実施	4月～11月 ⑦⑧随時	
		栄養教室(食生活改善推進員養成講座)の開催【再掲:3-⑥】	生活習慣病の予防や健康づくりを広く地域に普及し、食生活を通して市民の健康の保持増進を図る、食生活改善推進員を養成するための栄養教室を開催【再掲:3-⑥】	5月～2月 ⑦⑧定期	
		健康づくり食生活改善実践講習会	⑦人それぞれに適した正しい食生活を自主的に営むことを目的として、食品、栄養及び調理技術の正しい知識を普及・啓発 ⑧「減塩」と「野菜もう1皿」を重点テーマとして家庭訪問で塩分チェックとアンケート調査を行い、パンフレット等を活用して減塩・野菜摂取の普及啓発を行う。	6月～2月 ⑦13回 1,071人 ⑧各地区	富山県食生活改善連絡推進協議会、射水市食生活改善推進協議会
		三世代ふれあいクッキングセミナー【再掲:1-②】	食を通じて三世代の交流を推進するとともに、各年代の健康づくりのための食事について学ぶためのクッキングセミナーを実施【再掲:1-②】	6月～2月 ⑦11回 541人 ⑧7回	
		生涯骨太クッキング～ロコモチェックでロコモ予防～	高齢者を対象に、乳製品を使用した調理実習を通してロコモティブシンドロームの予防活動の普及	8月～2月 ⑦1回 16人 ⑧1回	(財)日本食生活協会、射水市食生活改善推進協議会
		男性のための料理教室	30歳以上の男性を対象に、自らの健康に関心を持つことができるよう料理講習会を実施	8月～2月 ⑦1回 19人 ⑧ -	
⑧	ボランティアなどの人材育成	栄養教室(食生活改善推進員養成講座)の開催【再掲:3-⑦】	生活習慣病の予防や健康づくりを広く地域に普及し、食生活を通して市民の健康の保持増進を図る、食生活改善推進員を養成するための栄養教室を開催【再掲3-⑦】	5～2月 ⑦随時 ⑧随時	市(保健センター)

## 4 地域における食育の推進

No.	取り組むべき施策	事業の概要	実施時期・回数・人数等	担当課・行動主体
① ボランティア等による食育の推進  追加資料 p7	「とやま食の匠」派遣制度の活用	富山県が実施している「とやま食の匠」派遣制度等の周知及び活用	通年  ⑦17個人、2団体登録 ⑧17個人、2団体登録	市(農林水産課)
	伝達講習会、地域食育講習会の開催【再掲:3-②】	生活習慣病予防のための食生活をテーマとした講義や調理実習を行う伝達講習会や、地域ニーズに則した各種の料理教室などを用いる地域食育講習会を開催【再掲:3-②】	通年  ⑦伝達講習25回517人、地域食育講習会29回1103人 ⑧伝達講習23回、地域食育講習会29回	射水市食生活改善推進協議会、市(保健センター)
	富山型食生活普及推進事業(いきいきとやま食育クッキング)【再掲:1-⑦】	地域の食文化や栄養バランスのよい料理を普及するため、旬の地場産食材を使用した郷土料理の調理実習を実施【再掲:1-⑦】	6月～2月  ⑦5回 115人 ⑧4回	富山県食生活改善連絡推進協議会、射水市食生活改善推進協議会
	三世代ふれあいクッキングセミナー【再掲:1-②】	食を通じて三世代の交流を推進するとともに、各年代の健康づくりのための食事について学ぶためのクッキングセミナーを実施【再掲:1-②】	6月～2月  ⑦11回 541人 ⑧7回	
	おやこの食育教室【再掲:1-②】	園児や小学生の子どもとその親を対象として、食育に関する講義や郷土料理の料理講習会を実施【再掲:1-②】	8月～2月  ⑦2回 51人 ⑧2回	
	生涯骨太クッキング～ロコモチェックでロコモ予防～【再掲:3-⑦】	高齢者を対象に、乳製品を使用した調理実習を通してロコモティブシンドロームの予防活動の普及【再掲:3-⑦】	8月～2月  ⑦1回 16人 ⑧1回	(財)日本食生活協会、射水市食生活改善推進協議会
	男性のための料理教室【再掲:3-⑦】	30歳以上の男性を対象に、食生活を通じ自らの健康に关心を持つよう料理講習会を実施【再掲:3-⑦】	8月～2月  ⑦1回 19人 ⑧ -	
② 食に関する専門的な支援	市政出前講座【再掲:3-⑦】	食事と健康との関わりをテーマとした出前講座の実施【再掲:3-⑦】	通年  ⑦4回 ⑧	市(市民病院、保健センター)
	食生活改善推進員研修会	食生活改善推進員を対象に、生活習慣病予防や介護予防につながる知識と技術を習得するための研修会を開催	5～2月  ⑦12回 717人 ⑧11回	市(保健センター)
	子育て支援センター栄養講座	離乳食をテーマに知識の普及と栄養相談	8～2月  ⑦4回 親子33組 ⑧4回	市(子育て支援課)
③ 地域振興会等における食育の推進  追加資料 p8・9	地域振興会行事等の開催(生涯学習推進事業)	多世代が交流する農業体験、親子料理教室、おやつ作りなどを実施	通年  ⑦⑧随時	地域振興会、敬老会等各種団体、射水市食生活改善推進協議会
④ 職場における食育の推進	健康増進計画推進事業	「元気とやま健康づくり企業」応援事業、地域職域健康づくり応援事業、企業連携健康づくり応援プロジェクトなどを実施し、働く世代への食育を推進。	通年  ⑦⑧随時	高岡厚生センター
⑤ 外食等における食育の推進	健康づくり協力店事業	カロリーや栄養成分を表示したメニューの提供や禁煙対策などを用いている店舗を「健康づくり協力店」として登録	通年  ⑦市内15店舗 ⑧市内15店舗	富山県厚生部健康課、市(関係各課)

## 5 食の選択力の向上及び安全性の確保

No.	取り組むべき施策	食育に関連する事業名等	事業の概要	実施時期・回数・人数等	担当課・行動主体
①	食品に関する情報の発信	栄養教室(食生活改善推進員養成講座)の開催	食生活改善推進員を養成する栄養教室において、食品の表示・規格等に関する講座を開催 講師:⑦⑧高岡厚生センター	7月 ⑦⑧1回 15人 ⑧1回	市(保健センター)、高岡厚生センター
		食生活改善推進員再教育	食生活改善推進員対象の研修会において、食品の表示・規格等に関する講座を開催	7月 ⑦⑧1回 74人 ⑧ -	市(保健センター)
		消費生活サポーター養成事業	消費生活サポーターを対象とした食品表示等に関する研修会の実施、食の安全に関する情報共有	通年 ⑦⑧随時	市(市民課)
		広報誌等による情報の提供	食中毒防止の情報など、国・県からの情報をもとに、市広報誌やホームページなどを通じた情報の提供	通年 ⑦⑧随時	市(各担当課)
②	食に関する危機事案発生時の安全性の確保	広報誌等による情報の提供	国・県からの情報を基に、市広報誌やホームページ等を通じて随時情報を提供する。(鳥獣・家畜等の法定伝染病、放射能と食品等に関する情報等を市ホームページにより提供)	通年 ⑦⑧随時	市(市民課、農林水産課)
③	食品の安全性に関する相談体制の確立	消費生活相談の実施	相談内容の専門性から、国、県などと連携した消費生活相談における食品に関する相談等の受付	通年 ⑦⑧随時	市(市民課)
④	食に関するリスクコミュニケーションの充実	国、県及び関係機関との連携	国、県及び関係機関との連携による「食の安全」を含めた様々な消費生活情報を共有	通年 ⑦⑧随時	市(市民課)
		食品衛生協会との連携	飲食に起因する伝染病、食中毒その他の危害を防止し、安全な食品を消費者に提供するための射水、新湊の両食品衛生協会との連携	通年 ⑦⑧随時	市(保健センター)
⑤	生産・流通管理の徹底	GAPやトレーサビリティ普及への取組み	射水市農業技術者協議会と連携し、農産物の安全性の確保と产地の信頼性の向上を図るため、市内の農業経営体に対し、GAP(リスク管理措置の記録等)やトレーサビリティ(生産、加工、流通の各履歴情報が確認できる仕組み)を普及	通年 ⑦⑧随時	射水市農業技術者協議会、市(農林水産課)
		産地情報の伝達	直売所等におけるトレーサビリティ法やJAS法(農林物資の規格化及び品質表示の適正化に関する法律)に基づく産地情報の伝達	通年 ⑦⑧随時	農林水産業関係団体
⑥	消費者への情報提供の推進	広報誌等による情報の提供 【再掲:5-①】	国・県からの情報をもとに、市広報誌やホームページ等を通じた情報の提供 【再掲:5-①】	通年 ⑦⑧随時	市(農林水産課)

## 基本目標 III

ずっと伝えよう、育てていこう 射水の恵み<地産地消を通じた地域の活性化>

### 6 地産地消の推進

No.	取り組むべき施策	食育に関連する事業名等	事業の概要	実施時期・回数・人数等	担当課・行動主体
①	地場産食材の消費の拡大	園芸作物等特産振興	園芸特産物の集団化と共同販売体制の確立を推進とともに、複合化による水田作経営を体質強化	通年 ⑦⑧実施事業者	農林水産業関係団体 市(農林水産課)
		学校給食米粉食品利用助成事業	県産コシヒカリの消費を推進するため、従来の小麦粉パンに替えて米粉パンを学校給食に提供する場合に米粉と小麦粉の価格の差額を助成及び米粉パン以外の米粉食品(米粉麺等)に使用する米粉の価格と小麦粉の差額を助成	通年 ⑦⑧全小・中学校	
②	直売所及びインショップの設置	直売所等のPR	県内の直売所、インショップ情報が掲載されたパンフレットを作成し、直売所等を対象とした県産品購入ポイントなどの各種イベントの実施(県事業)及び県と連携したPR	通年 ⑦⑧随時	市(農林水産課)
③	農林水産業者との交流の推進	未来につなぐ「農」と「食」普及啓発事業【再掲:2-②】	食に関わる人々の様々な活動への理解を深め地場産食材の良さを認識してもらうことを目的に、農業体験活動等を実施し、子どもと地域住民が一緒に、一連の農作業、調理等を体験【再掲:2-②】	通年 ⑦23回 ⑧23回	農林水産業関係団体 市(農林水産課)
		都市漁村交流推進協議会との連携	都市部と漁村との交流に関する各種の課題、方策について、検討・連絡・調整を実施	7月 ⑦総会 ⑧総会	
		稚魚中間育成及び放流事業【再掲:2-②】	漁業資源保全、養殖漁業や地域の食材への理解を深めてもらうため、園児・児童がアユやトラフグ等の稚魚放流を体験【再掲:2-②】	4月～8月 ⑦3校(大門小、堀岡小、八幡保育園) ⑧3校(大門小、作道小、八幡保育園)	
		水産多面的機能發揮対策事業	大門漁業協同組合において、地元小学生の親子を対象とした庄川の水環境の説明及びそこに放流する鮎の中間養殖施設を見学し、庄川の環境保全が富山湾の環境保全につながることを学習。	8月 ⑦1回 ⑧1回	
		元気とふれあいの学校給食づくり事業【再掲:2-④】	幼稚園や小・中学校において、地元の食材に対する知識や理解を深めるため「射水食材の日」を設定し、地場産野菜等を活用した特別給食や生産者と児童生徒との給食交流会を実施【再掲:2-④】	4月～11月 ⑦3回(金山小、中太閤山小、東明小) ⑧—	
		学校給食向け県産食材活用拡大プロジェクト【再掲:2-④】	幼稚園や小・中学校において、地元の食材に対する知識や理解を深めるため「射水食材の日」を設定し、地場産野菜等を活用した特別給食を実施【再掲:2-④】	通年 ⑧4回	
		力ニ学校給食の実施	地元の特産品への理解を深めるため、ベニズワイガニを市内全小学校6年生の給食時に1杯まるごと提供	10月～11月 ⑦⑧各小学校	市(学校教育課)
④	地産地消の意識の普及・啓発	水産多面的機能發揮対策事業	市内の農産物の直売所に関する情報など、市ホームページで地産地消に関する情報を提供	通年 ⑦⑧随時	市(農林水産課)
		チャレンジ農業体験	市内の小学5.6年生を対象に、農作物の定植から収穫、調理(加工)の体験を通じて、農業を身近に感じてもらうとともに、射水市農産物への理解を深める	6月～11月 ⑦4回 ⑧3回	農林水産業関係団体 市(農林水産課)

追加資料  
p10～12

No.	取り組むべき施策	食育に関連する事業名等	事業の概要	実施時期・回数・人数等	担当課・行動主体
⑤ 魅力的な地場産品による射水ブランドの育成  追加資料 p13・14	園芸ブランド産地強化事業	県の補助事業を活用し、生産拡大や経営の複合化による生産者数や産地の拡大を図るため、機械・施設の整備を支援	通年	⑦⑧実施事業者	市(農林水産課)
	近畿大学水産研究所富山実験場研究支援	効率的な養殖システムの開発、振興の支援	通年	⑦⑧1事業	
	サクラマスPR事業	射水市の新ブランド確立と養殖漁業の振興を支援	通年	⑦⑧1事業 ⑨1事業	
	いみずマリンバイオテクノロジー研究会支援	産学官連携で富山湾の環境保護と調和した水産業の事業化に向けた技術的課題の研究支援	通年	⑦1事業 ⑧支援事業終了	
	射水ブランド商品開発支援	一次產品及び加工品の商品開発及び販路拡大の支援 「越のわたり蟹」の情報発信、地元食材を使ったレシピ集の作成)	通年	⑦2事業 ⑧0事業	市(港湾・観光課)
⑥ 射水の旬の食材の情報発信  追加資料 p15	ホームページによる情報の提供 【再掲: 6-④】	市ホームページの「新湊のさかな情報」などによる旬の食材に関する情報の提供	通年	⑦⑧隨時	市(農林水産課)
	「食育だより」、「給食だより」の配付 【再掲: 1-③】	旬の食材に関する情報を伝えるため、保育園や幼稚園、小・中学校において「食育だより」や「給食だより」を配付	通年	⑦⑧定期	保育園、幼稚園、小・中学校、市(子育て支援課、学校教育課)
⑦ 地場産食材の積極的な使用的推進  追加資料 p16	「射水きときとの日」の実施 【再掲: 2-④】	保育園において毎月「射水きときとの日」を設定し、旬の地場産食材を給食に使用 【再掲: 2-④】	通年	⑦22回 ⑧29回	保育園、市(子育て支援課)
	地場産食材利用の加工食品提供 【再掲: 2-④】	地元の食材を使つたりんごゼリーや里芋コロッケなどを業者に製造依頼し給食に使用 【再掲: 2-④】	通年	⑦8回 ⑧10回	
	学校給食向け県産食材活用拡大プロジェクト 《27年度: 元気とふれあいの学校給食づくり事業》 【再掲: 2-④】	幼稚園や小・中学校において、地元の食材に対する知識や理解を深めるため「射水食材の日」を設定し、地場産野菜等を活用した特別給食を実施 【再掲: 2-④】	通年	⑦3回(金山小、中太閤山小、東明小) ⑧4回	農林水産業関係団体、市(農林水産課、学校教育課)、学校給食センター、幼稚園、小・中学校
	学校給食研究会	栄養教諭、栄養職員などで組織する学校給食研究会において、地場産食材を使用した献立などについて協議	通年	⑦⑧隨時	市(学校教育課)
⑧ バイオマスタウン構想の推進  追加資料 p17	ごみ自家処理機購入補助金	家庭から出る生ごみを堆肥化するための処理機購入費の一部を助成(電気式生ごみ処理機の購入価格(税込)の1/3又は15,000円いずれか低い額を補助)	通年	⑦随时 ⑧随时	市(環境課)
⑨ 食品廃棄の低減  追加資料 p18・19	-	食品加工残渣は堆肥に使用し、有効活用	通年	⑦⑧随时	市(農林水産課)

## 7 食文化の伝承・創造

No.	取り組むべき施策	食育に関連する事業名等	事業の概要	実施時期・回数・人数等	担当課・行動主体
①	郷土料理や伝統料理の情報 <small>参考 追加資料 p20</small>	—	市ホームページ等による情報の提供	通年 ⑦⑧随時	市(関係各課)
②	郷土料理や伝統料理の伝承 <small>追加資料 p21</small>	伝達講習会、地域食育講習会の開催 【再掲:3-②】	生活習慣病予防のための食生活をテーマとした講義や調理実習を行う伝達講習会や、地域ニーズに則した各種の料理教室などをを行う地域食育講習会を開催 【再掲:3-②】	通年 ⑦伝達講習25回517人、地域食育講習会29回1103人 ⑧伝達講習23回、地域食育講習会29回	射水市食生活改善推進協議会 市(保健センター)
		三世代ふれあいクッキングセミナー 【再掲:1-②】	食を通じて三世代の交流を推進するとともに、各年代の健康づくりのための食事について学ぶためのクッキングセミナーを実施 【再掲:1-②】	6月～2月 ⑦11回 541人 ⑧11回	富山県食生活改善連絡推進協議会 射水市食生活改善推進協議会
		富山型食生活普及推進事業(いきいきとやま食育クッキング) 【再掲:1-⑦】	地域の食文化や栄養バランスのよい料理を普及するため、旬の地場産食材を使用した郷土料理の調理実習等を実施 【再掲:1-⑦】	6月～2月 ⑦5回 115人 ⑧4回	射水市食生活改善推進協議会
		「とやま食の匠」派遣制度の活用 【再掲:4-①】	富山県が実施している「とやま食の匠」派遣制度等の周知及び活用 【再掲:4-①】	通年 ⑦17個人、2団体登録 ⑧17個人、2団体登録	市(農林水産課)
③	地域行事等における食文化の伝承	生涯学習推進事業 【再掲:4-③】	多世代が交流する農業体験、親子料理教室、行事食やおやつ作りなどを実施 【再掲:4-③】	通年 ⑦⑧随時	地域振興会 敬老会等各種団体 射水市食生活改善推進協議会
④	射水ブランドによる新たな食文化の創造 <small>追加資料 p21～25</small>	射水ブランド商品開発支援 【再掲:6-⑤】	一次産品及び加工品の商品開発及び販路拡大の支援 ('越のわたり蟹'の情報発信、地元食材を使ったレシピ集の作成)	通年 ⑦2事業 ⑧0事業	市(港湾・観光課)